

11 市に望む施策

(1) 充実させるべき障がい者施策（身体・知的・精神・難病・発達）

問 市の障害福祉施策について、今後、特に力をいれてほしいことは何ですか。
（5つまでに○）

身体障がい者では、「障がい者が利用しやすい道路や公共施設などのバリアフリーの推進」が25.9%、知的障がい者では、「グループホームなどの住まいの場の充実」が30.8%、精神障がい者では、「障がい者のための身近な相談支援体制の充実・機能強化（地域生活支援センターあさやけ、地域自立生活支援センターひびきなど）」が25.5%ともっとも高くなっています。

また、難病等の方では、「保健・医療、福祉、教育の連携と一貫した支援」が28.1%、発達障がいの方では、「ライフステージ（入学、卒業、就職など）で途切れることのない一貫した支援」が61.9%ともっとも高くなっています。

【充実させるべき障がい者施策（対象別上位5回答）】

項目	身体障がい者 回答者数 = 819	知的障がい者 回答者数 = 198	精神障がい者 回答者数 = 255	難病等の方 回答者数 = 185	発達障がいの方 回答者数 = 42
1	障がい者が利用しやすい道路や公共施設などのバリアフリーの推進 25.9%	グループホームなどの住まいの場の充実 30.8%	障がい者のための身近な相談支援体制の充実・機能強化（地域生活支援センターあさやけ、地域自立生活支援センターひびきなど） 25.5%	保健・医療、福祉、教育の連携と一貫した支援 28.1%	ライフステージ（入学、卒業、就職など）で途切れることのない一貫した支援 61.9%
2	災害時や緊急時の支援体制の充実 19.8%	ライフステージ（入学、卒業、就職など）で途切れることのない一貫した支援 25.3%	障がいを理由とする差別の解消の推進 25.1%	災害時や緊急時の支援体制の充実 21.1%	療育（言語訓練など）の充実 28.6%
3	保健・医療、福祉、教育の連携と一貫した支援 17.0%	就労支援（就労・生活支援センターほっとなど）の充実 21.7%	就労支援（就労・生活支援センターほっとなど）の充実 22.7%	障がい者が利用しやすい道路や公共施設などのバリアフリーの推進 19.5%	就労に向けた訓練の充実／放課後活動の充実
4	補装具の利用支援や日常生活用具の給付の充実 16.6%	日中一時支援、短期入所など介助者（家族や親族）への支援の充実 19.7%	障がいの特性に応じた情報提供の整備・充実 20.4%	就労支援（就労・生活支援センターほっとなど）の充実 18.4%	23.8%
5	外出時の移動に関する支援の充実 13.8%	災害時や緊急時の支援体制の充実／外出時の移動に関する支援の充実 17.2%	保健・医療、福祉、教育の連携と一貫した支援 20.0%	障がいの特性に応じた情報提供の整備・充実 15.1%	児童発達支援などでの就学前訓練／保健・医療、福祉、教育の連携と一貫した支援／就労支援（就労・生活支援センターほっとなど）の充実／障がいの特性に応じた情報提供の整備・充実／障がいがある人とない人の相互理解・交流の促進 19.0%

【集計結果：充実させるべき障がい者施策】

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		難病等の方		発達障がいの方	
	回答者数 = 819		回答者数 = 198		回答者数 = 255		回答者数 = 185		回答者数 = 42	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
障がいを理由とする差別の解消の推進	100	12.2	27	13.6	64	25.1	15	8.1	1	2.4
障がい者のための身近な相談支援体制の充実・機能強化（地域生活支援センターあさやけ、地域自立生活支援センターひびきなど）	70	8.5	27	13.6	65	25.5	12	6.5	5	11.9
計画相談支援、地域移行支援、地域定着支援などのケアマネジメント体制の充実	54	6.6	14	7.1	25	9.8	8	4.3	4	9.5
児童発達支援などでの就学前訓練	12	1.5	11	5.6	3	1.2	9	4.9	8	19.0
療育（言語訓練など）の充実	13	1.6	20	10.1	5	2.0	6	3.2	12	28.6
ライフステージ（入学、卒業、就職など）で途切れることのない一貫した支援	52	6.3	50	25.3	39	15.3	23	12.4	26	61.9
保健・医療、福祉、教育の連携と一貫した支援	139	17.0	33	16.7	51	20.0	52	28.1	8	19.0
自立生活を支援する権利擁護体制の充実	48	5.9	19	9.6	32	12.5	9	4.9	2	4.8
居宅介護などのヘルプサービスの充実	90	11.0	5	2.5	22	8.6	23	12.4	-	-
補装具の利用支援や日常生活用具の給付の充実	136	16.6	3	1.5	4	1.6	20	10.8	1	2.4
日中一時支援、短期入所など介助者（家族や親族）への支援の充実	64	7.8	39	19.7	5	2.0	19	10.3	4	9.5
ひとり暮らしの定期訪問などの支援事業の充実	60	7.3	13	6.6	28	11.0	19	10.3	3	7.1

(次項につづく)

【集計結果：充実させるべき障がい者施策】

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		難病等の方		発達障がいの方	
	回答者数 = 819		回答者数 = 198		回答者数 = 255		回答者数 = 185		回答者数 = 42	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
災害時や緊急時の支援体制の充実	162	19.8	34	17.2	34	13.3	39	21.1	2	4.8
防犯体制の充実	41	5.0	9	4.5	19	7.5	10	5.4	-	-
グループホームなどの住まいの場の充実	53	6.5	61	30.8	19	7.5	15	8.1	5	11.9
自立生活の体験の場（グループホームやひとり暮らしの練習）の充実	17	2.1	24	12.1	10	3.9	4	2.2	4	9.5
民営住宅の障がい者用住宅のあっせん	56	6.8	5	2.5	31	12.2	19	10.3	2	4.8
障がい者が利用しやすい道路や公共施設などのバリアフリーの推進	212	25.9	8	4.0	14	5.5	36	19.5	2	4.8
就労に向けた訓練の充実	32	3.9	23	11.6	45	17.6	18	9.7	10	23.8
就労支援（就労・生活支援センターほっとなど）の充実	51	6.2	43	21.7	58	22.7	34	18.4	8	19.0
生活介護などの日中活動の場や居場所の充実	64	7.8	23	11.6	16	6.3	15	8.1	1	2.4
放課後活動の充実	10	1.2	22	11.1	3	1.2	4	2.2	10	23.8
余暇活動（文化活動、スポーツなど）の充実	53	6.5	25	12.6	18	7.1	13	7.0	5	11.9
外出時の移動に関する支援の充実	113	13.8	34	17.2	16	6.3	15	8.1	6	14.3
障がいの特性に応じた情報提供の整備・充実	100	12.2	22	11.1	52	20.4	28	15.1	8	19.0
障がいがある人となない人の相互理解・交流の促進	60	7.3	26	13.1	36	14.1	13	7.0	8	19.0
その他	32	3.9	5	2.5	18	7.1	5	2.7	3	7.1
無回答	278	33.9	48	24.2	46	18.0	47	25.4	6	14.3

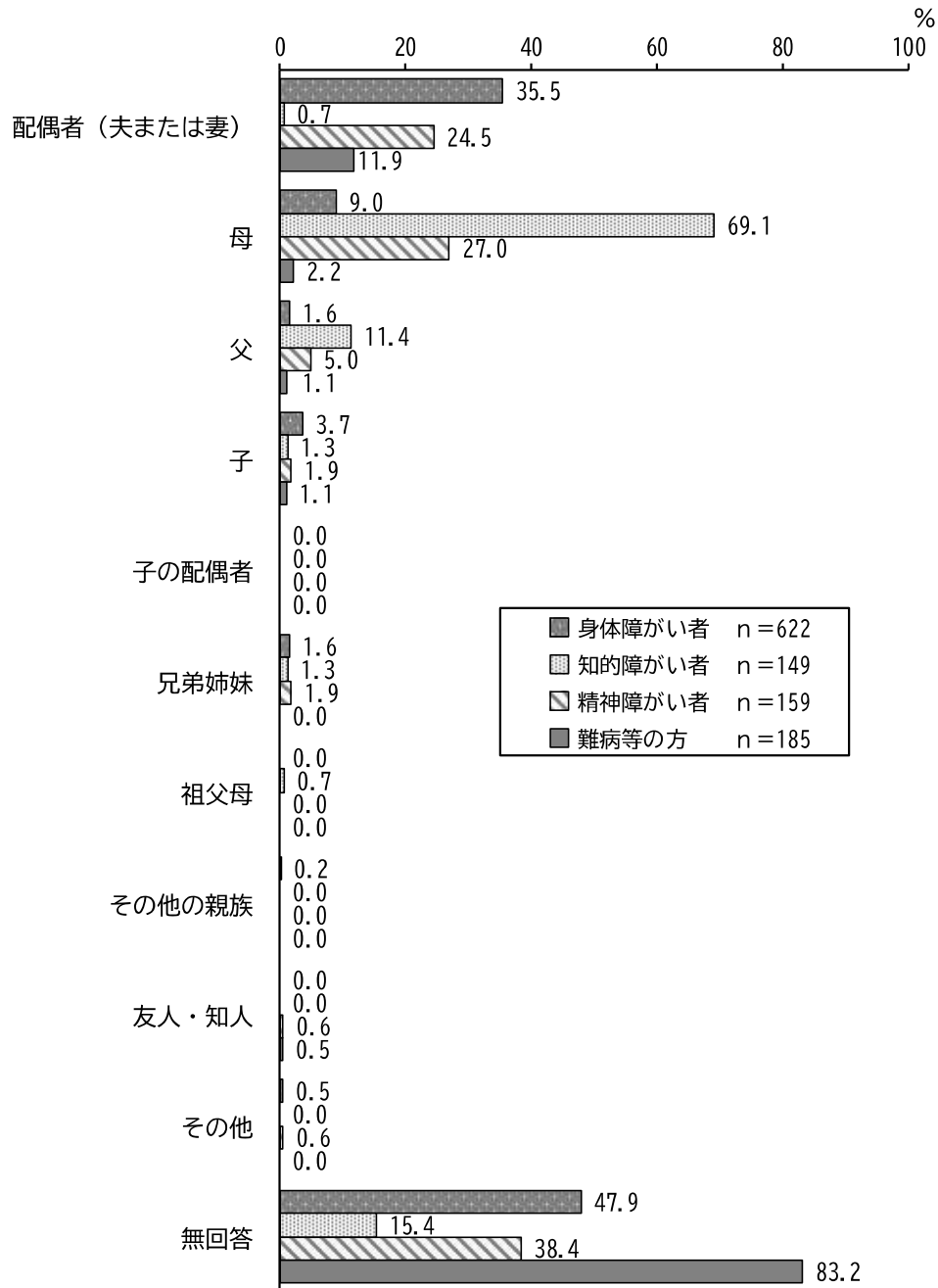
12 支援者の状況

(1) 主な支援者（身体・知的・精神・難病）

問 あなたは障がいのある方からみてどのような関係にあたりますか。（1つに○）

身体障がい者では、「配偶者（夫または妻）」が35.5%、知的障がい者では、「母」が69.1%ともっとも高くなっています。

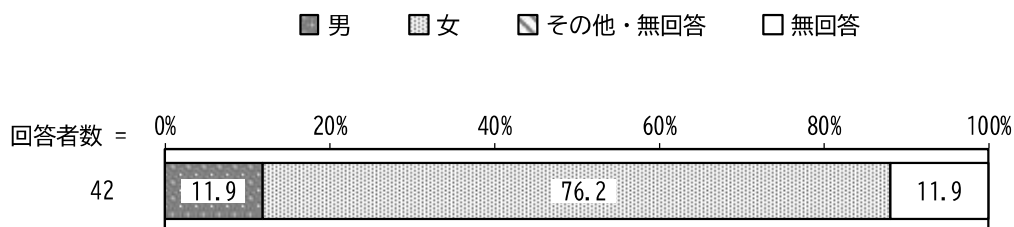
また、精神障がい者では、「母」が27.0%、難病等の方では、「配偶者（夫または妻）」が11.9%ともっとも高くなっています。



(2) 支援者の性別（発達）

問 性別についてお答えください。

「女性」が76.2%、「男性」が11.9%となっています。

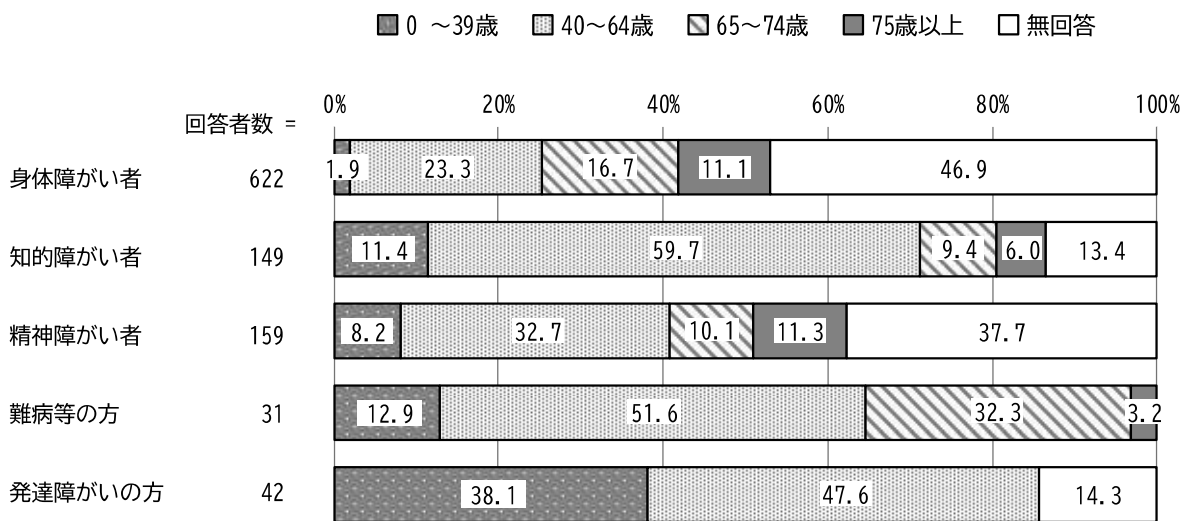


※「その他・無回答」は今回調査における選択肢、「無回答」はこの設問に回答しなかった人を表します。

(3) 支援者の年齢（身体・知的・精神・難病・発達）

問 あなたは何歳ですか。令和4年10月1日現在

すべての対象者で、40～64歳がもっとも高く、身体障がい者で23.3%、知的障がい者で59.7%、精神障がい者で32.7%、難病等の方で51.6%、発達障がいの方で47.6%となっています。



(4) 支援者の相談相手（身体・知的・精神・難病）

問 あなたの相談相手は誰ですか。（あてはまるものすべてに○）

すべての対象者で「家族や親族」がもっとも高く、身体障がい者で 40.2%、知的障がい者で 71.8%、精神障がい者で 39.6%、難病等の方で 77.4%となっています。

また、「友人・知人」が知的障がい者で 33.6%などすべての対象者で3位以内に入っているほか、「医療機関（病院・診療所など）」が身体障がい者で 11.6%、知的障がい者で 27.5%、精神障がい者で 20.1%となっています。

【支援者の相談相手（対象別上位5回答）】

項目	身体障がい者 回答者数 = 622	知的障がい者 回答者数 = 149	精神障がい者 回答者数 = 159	難病等の方 回答者数 = 31
1	家族や親族 40.2%	家族や親族 71.8%	家族や親族 39.6%	家族や親族 77.4%
2	友人・知人 17.7%	友人・知人 33.6%	医療機関（病院・診療所など） 20.1%	友人・知人 25.8%
3	医療機関（病院・診療所など） 11.6%	医療機関（病院・診療所など） 27.5%	友人・知人 14.5%	市役所、保健所 9.7%
4	ケアマネジャー 10.6%	施設の職員 26.8%	相談できる人はいない 10.7%	近所の人／医療機関（病院・診療所など）／相談できる人はいない
5	市役所、保健所 6.3%	学校の先生 24.2%	施設の職員 8.2%	6.5%

【集計結果：支援者の相談相手】

項目	身体障がい者 回答者数 = 622		知的障がい者 回答者数 = 149		精神障がい者 回答者数 = 159		難病等の方 回答者数 = 31	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
家族や親族	250	40.2	107	71.8	63	39.6	24	77.4
友人・知人	110	17.7	50	33.6	23	14.5	8	25.8
近所の人	14	2.3	3	2.0	3	1.9	2	6.5
市役所、保健所	39	6.3	15	10.1	8	5.0	3	9.7
施設の職員	30	4.8	40	26.8	13	8.2	-	-
医療機関（病院・診療所など）	72	11.6	41	27.5	32	20.1	2	6.5
障がい者団体	8	1.3	9	6.0	2	1.3	-	-
民生委員児童委員	3	0.5	1	0.7	2	1.3	-	-
障害者相談員	13	2.1	17	11.4	4	2.5	-	-
学校の先生	10	1.6	36	24.2	2	1.3	1	3.2
職場の人	10	1.6	7	4.7	2	1.3	1	3.2
相談機関（あさやけ、ひびき、ほっとなど）	12	1.9	34	22.8	10	6.3	-	-
ケアマネジャー	66	10.6	1	0.7	6	3.8	1	3.2
その他	9	1.4	7	4.7	8	5.0	-	-
相談できる人はいない	14	2.3	6	4.0	17	10.7	2	6.5
無回答	298	47.9	19	12.8	61	38.4	1	3.2

(5) 支援者の情報入手先（身体・知的・精神・難病）

問 福祉関連の情報を主にどこから入手していますか。（あてはまるものすべてに○）

「都や市などの広報」が、身体障がい者で 33.9%、知的障がい者で 36.2%、精神障がい者で 28.3%、難病等の方で 58.1%ともっとも高くなっています。

また、「インターネット・SNS」が、難病等の方で 58.1%などすべての対象者で3位以内に入っています。

【支援者の情報入手先（対象別上位5回答）】

項目	身体障がい者 回答者数 = 622	知的障がい者 回答者数 = 149	精神障がい者 回答者数 = 159	難病等の方 回答者数 = 31
1	都や市などの広報 33.9%	都や市などの広報 36.2%	都や市などの広報 28.3%	都や市などの広報 ／インターネット・ SNS
2	インターネット・S NS 15.6%	学校・職場・施設 27.5%	インターネット・S NS 23.3%	58.1%
3	テレビ・ラジオ・新 聞 14.6%	インターネット・S NS 26.2%	病院・診療所 14.5%	テレビ・ラジオ・新 聞 29.0%
4	病院・診療所 10.3%	相談機関（あさや け、ひびき、ほっと など） 16.8%	テレビ・ラジオ・新 聞 11.3%	家族・親族 22.6%
5	家族・親族 7.9%	障がい者団体 12.1%	市や保健所の窓口 8.2%	病院・診療所 19.4%

【集計結果：支援者の情報入手先】

項目	身体障がい者 回答者数 = 622		知的障がい者 回答者数 = 149		精神障がい者 回答者数 = 159		難病等の方 回答者数 = 31	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
都や市などの広報	211	33.9	54	36.2	45	28.3	18	58.1
学校・職場・施設	37	5.9	41	27.5	7	4.4	1	3.2
テレビ・ラジオ・新聞	91	14.6	14	9.4	18	11.3	9	29.0
インターネット・SNS	97	15.6	39	26.2	37	23.3	18	58.1
病院・診療所	64	10.3	13	8.7	23	14.5	6	19.4
障がい者団体	19	3.1	18	12.1	2	1.3	-	-
家族・親族	49	7.9	13	8.7	11	6.9	7	22.6
市や保健所の窓口	43	6.9	17	11.4	13	8.2	5	16.1
障害者相談員	10	1.6	15	10.1	3	1.9	-	-
相談機関（あさやけ、ひびき、ほっとなど）	12	1.9	25	16.8	10	6.3	-	-
ヘルパー・ボランティア	13	2.1	-	-	1	0.6	-	-
その他	15	2.4	9	6.0	10	6.3	1	3.2
無回答	309	49.7	38	25.5	68	42.8	1	3.2

(6) 支援者を交代してくれる人（身体・知的・精神・難病）

問 介助・支援を交代してくれる人はどなたですか。（あてはまるものすべてに○）

身体障がい者では、「子」が18.3%、知的障がい者では、「配偶者（夫または妻）」が47.7%ともっとも高くなっています。

「交代してくれる人はいない」が、精神障がい者で30.8%、難病等の方で32.3%ともっとも高くなっています。

【集計結果：支援者を交代してくれる人】

項目	身体障がい者 回答者数 = 622		知的障がい者 回答者数 = 149		精神障がい者 回答者数 = 159		難病等の方 回答者数 = 31	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
配偶者（夫または妻）	82	13.2	71	47.7	22	13.8	7	22.6
親（父母）	15	2.4	21	14.1	8	5.0	1	3.2
子	114	18.3	15	10.1	8	5.0	8	25.8
子の配偶者	6	1.0	1	0.7	-	-	-	-
兄弟姉妹	24	3.9	12	8.1	6	3.8	3	9.7
祖父母	1	0.2	1	0.7	-	-	-	-
その他の親族	7	1.1	1	0.7	1	0.6	1	3.2
友人・知人	4	0.6	3	2.0	2	1.3	-	-
近所の人	4	0.6	-	-	1	0.6	-	-
ヘルパー	22	3.5	4	2.7	1	0.6	1	3.2
ボランティア	2	0.3	-	-	2	1.3	-	-
その他	2	0.3	1	0.7	7	4.4	1	3.2
交代してくれる人はいない	108	17.4	17	11.4	49	30.8	10	32.3
無回答	303	48.7	41	27.5	66	41.5	3	9.7

(7) 交代すると助かること（身体・知的・精神・難病）

問 日常の介助・支援のなかで、他の人に代わってもらえると助かることは、どんなことですか。（あてはまるものすべてに○）

「特にない」が、身体障がい者で 24.6%、精神障がい者で 30.2%、難病等の方で 64.5%ともっとも高くなっています。

また、知的障がい者では、「外出」が 34.9%ともっとも高くなっています。

【集計結果：交代すると助かること】

項目	身体障がい者 回答者数 = 622		知的障がい者 回答者数 = 149		精神障がい者 回答者数 = 159		難病等の方 回答者数 = 31	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
	食事	60	9.6	18	12.1	20	12.6	3
掃除、洗濯	43	6.9	10	6.7	18	11.3	2	6.5
着替え（身だしなみ）	22	3.5	5	3.4	3	1.9	1	3.2
トイレ	32	5.1	4	2.7	2	1.3	1	3.2
入浴	52	8.4	13	8.7	2	1.3	1	3.2
家の中での移動	10	1.6	-	-	1	0.6	1	3.2
買い物	59	9.5	13	8.7	16	10.1	2	6.5
外出	67	10.8	52	34.9	10	6.3	5	16.1
その他	18	2.9	11	7.4	12	7.5	-	-
特にない	153	24.6	35	23.5	48	30.2	20	64.5
無回答	314	50.5	44	29.5	67	42.1	2	6.5

(8) 本人のことでの悩み (身体・知的・精神・難病・発達)

問 ご本人(宛名の方)のことであなただが悩んでいること、心配に思うことはありますか。(3つまでに○)

「将来の生活設計のこと」は身体障がい者で 14.8%、知的障がい者で 45.6%、精神障がい者で 23.9%、難病等の方で 32.3%、発達障がいの方で 42.9%とすべての対象者で3位以内に入っています。

また、発達障がいの方では、「就職や仕事のこと」が 52.4%ともっとも高く、次いで「進学・勉強のこと」が 45.2%となっています。

【本人のことでの悩み (対象別上位5回答)】

項目	身体障がい者 回答者数 = 622	知的障がい者 回答者数 = 149	精神障がい者 回答者数 = 159	難病等の方 回答者数 = 31	発達障がいの方 回答者数 = 42
1	健康・障がいのこと 21.7%	将来の生活設計のこと 45.6%	健康・障がいのこと 27.0%	健康・障がいのこと ／将来の生活設計のこと 32.3%	就職や仕事のこと 52.4%
2	将来の生活設計のこと 14.8%	就職や仕事のこと 22.8%	将来の生活設計のこと 23.9%		進学・勉強のこと 45.2%
3	経済的なこと／特に悩みや心配はない 11.6%	健康・障がいのこと／経済的なこと 18.8%	就職や仕事のこと 20.8%	就職や仕事のこと 29.0%	将来の生活設計のこと 42.9%
4			経済的なこと 15.7%	経済的なこと 25.8%	友だちづくりのこと 28.6%
5	福祉施設やサービスの利用について 6.1%	余暇活動のこと 13.4%	特に悩みや心配はない 3.8%	特に悩みや心配はない 19.4%	経済的なこと 16.7%

【集計結果：本人のことでの悩み】

項目	身体障がい者 回答者数 = 622		知的障がい者 回答者数 = 149		精神障がい者 回答者数 = 159		難病等の方 回答者数 = 31		発達障がいの方 回答者数 = 42	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
就職や仕事のこと	25	4.0	34	22.8	33	20.8	9	29.0	22	52.4
進学・勉強のこと	10	1.6	19	12.8	3	1.9	-	-	19	45.2
健康・障がいのこと	135	21.7	28	18.8	43	27.0	10	32.3	4	9.5
余暇活動のこと	17	2.7	20	13.4	4	2.5	2	6.5	2	4.8
恋愛や結婚のこと	3	0.5	10	6.7	5	3.1	1	3.2	2	4.8
友だちづくりのこと	11	1.8	18	12.1	5	3.1	-	-	12	28.6
社会・地域参加のこと	6	1.0	6	4.0	3	1.9	-	-	3	7.1
リハビリテーションのこと	22	3.5	-	-	-	-	1	3.2	-	-
福祉施設やサービスの利用について	38	6.1	14	9.4	5	3.1	-	-	2	4.8
経済的なこと	72	11.6	28	18.8	25	15.7	8	25.8	7	16.7
将来の生活設計のこと	92	14.8	68	45.6	38	23.9	10	32.3	18	42.9
その他	8	1.3	5	3.4	5	3.1	-	-	2	4.8
特に悩みや心配はない	72	11.6	5	3.4	6	3.8	6	19.4	-	-
無回答	322	51.8	42	28.2	72	45.3	2	6.5	11	26.2

(9) 支援での悩み (身体・知的・精神・難病・発達)

問 ご本人(宛名の方)を介助・支援するにあたって、あなたご自身が悩んでいることはありますか。(3つまでに○)

「健康のこと」が、身体障がい者で23.6%、精神障がい者で25.8%、難病等の方で38.7%と最もも高くなっています。

「自分や家族の将来の生活設計のこと」が、身体障がい者で12.4%、知的障がい者で36.2%、精神障がい者で18.9%、発達障がいの方で31.0%と、難病等の方を除くすべての対象者で3位以内に入っています。

「経済的なこと」が、知的障がい者で24.2%、精神障がい者で21.4%、発達障がいの方で47.6%と難病等の方を除くすべての対象者で3位以内に入っています。

【支援での悩み (対象別上位5回答)】

項目	身体障がい者 回答者数 = 622	知的障がい者 回答者数 = 149	精神障がい者 回答者数 = 159	難病等の方 回答者数 = 31	発達障がいの方 回答者数 = 42
1	健康のこと 23.6%	自分や家族の将来の生活設計のこと 36.2%	健康のこと 25.8%	健康のこと 38.7%	経済的なこと 47.6%
2	経済的なこと／自分や家族の将来の生活設計のこと 12.4%	本人の支援を代わってもらえる体制のこと 25.5%	経済的なこと 21.4%	就職や仕事のこと／特に悩んでいることはない 25.8%	就職や仕事のこと 38.1%
3		経済的なこと 24.2%	自分や家族の将来の生活設計のこと 18.9%		自分や家族の将来の生活設計のこと 31.0%
4	特に悩んでいることはない 11.7%	健康のこと 20.1%	就職や仕事のこと 13.8%	経済的なこと 22.6%	本人の支援を代わってもらえる体制のこと 21.4%
5	本人の支援を代わってもらえる体制のこと 7.2%	就職や仕事のこと 19.5%	本人の支援を代わってもらえる体制のこと 7.5%	自分や家族の将来の生活設計のこと 12.9%	福祉施設やサービスの利用について 19.0%

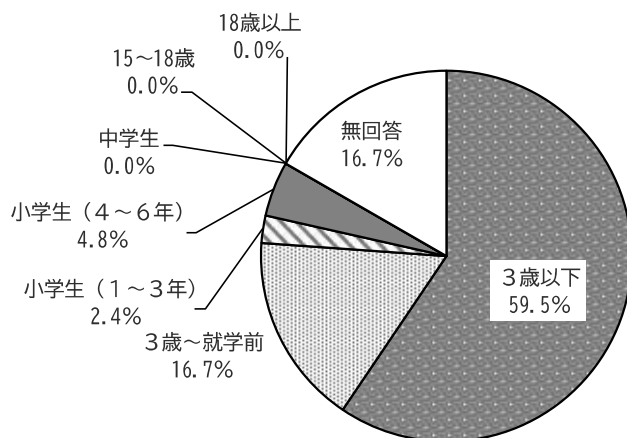
【集計結果：支援での悩み】

項目	身体障がい者 回答者数 = 622		知的障がい者 回答者数 = 149		精神障がい者 回答者数 = 159		難病等の方 回答者数 = 31		発達障がいの方 回答者数 = 42	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
就職や仕事のこと	19	3.1	29	19.5	22	13.8	8	25.8	16	38.1
健康のこと	147	23.6	30	20.1	41	25.8	12	38.7	5	11.9
本人と他の家族の関係のこと	12	1.9	9	6.0	11	6.9	2	6.5	6	14.3
経済的なこと	77	12.4	36	24.2	34	21.4	7	22.6	20	47.6
住まいのこと	21	3.4	8	5.4	5	3.1	1	3.2	2	4.8
交通の便のこと	16	2.6	2	1.3	3	1.9	2	6.5	1	2.4
近所づきあいのこと	2	0.3	3	2.0	4	2.5	1	3.2	2	4.8
社会参加・地域参加のこと	3	0.5	3	2.0	3	1.9	-	-	3	7.1
生活の安全のこと	27	4.3	6	4.0	5	3.1	2	6.5	2	4.8
自分や家族の将来の生活設計のこと	77	12.4	54	36.2	30	18.9	4	12.9	13	31.0
本人の支援を代わってもらえる体制のこと	45	7.2	38	25.5	12	7.5	1	3.2	9	21.4
福祉施設やサービスの利用について	33	5.3	20	13.4	1	0.6	1	3.2	8	19.0
その他	10	1.6	1	0.7	3	1.9	-	-	1	2.4
特に悩んでいることはない	73	11.7	9	6.0	8	5.0	8	25.8	1	2.4
無回答	323	51.9	46	30.9	74	46.5	3	9.7	9	21.4

(10) 発達障がいについての相談時の年齢（発達）

問 お子さんの発達や行動などについて気になり始めたのは何歳のころですか。
(1つに○)

3歳以下が59.5%ともっとも多く、次いで3歳～就学前が16.7%となっています。



回答者数 = 42

(11) 発達障がいについての相談のきっかけ（発達）

問 お子さんの発達や行動などについて相談したきっかけは何でしたか。
（あてはまるものすべてに○）

「他の子どもとの違いを感じたから」が50.0%ともっとも高く、次いで「子どもを見て違和感を感じたから」が31.0%、「健康診査（1歳半、3歳児）で声をかけられたから」が19.0%となっています。

【集計結果：相談のきっかけ】

項目	発達障がいの方 回答者数 = 42	
	人数	%
兄弟との違いを感じたから	3	7.1
他の子どもとの違いを感じたから	21	50.0
子どもを見て違和感を感じたから	13	31.0
健康診査（1歳半、3歳児）で声をかけられたから	8	19.0
市が作成したハンドブック等を見たから	-	-
就学时健診で声をかけられたから	1	2.4
医療機関からのアドバイスがあったから	7	16.7
幼稚園、保育園、認定こども園の先生からのアドバイスがあったから	7	16.7
登校しぶりや不登校になったから	4	9.5
いじめがあったから	1	2.4
他の子どもとのトラブルがあったから	3	7.1
学校の先生からのアドバイスがあったから	1	2.4
発達障がいに関する情報（テレビ、新聞、雑誌、インターネット等）を見て子どもと似ていると思ったから	3	7.1
その他	5	11.9
相談していない	-	-
無回答	7	16.7

(12) 発達障がいについての最初の相談先（発達）

問 家族、知人以外で、気になったことについて最初にどこで（誰に）相談しましたか。
（1つに○）

「医療機関（病院・診療所など）」が40.0%ともっとも高く、次いで「健康センター」が22.9%となっています。

【集計結果：最初の相談先】

項目	発達障がいの方 回答者数 = 35	
	人数	%
医療機関（病院・診療所など）	14	40.0
保育園・幼稚園・認定こども園・学校	-	-
スクールカウンセラー	1	2.9
職場（作業所などを含む）	-	-
教育相談室	1	2.9
市役所	-	-
保健所	2	5.7
児童相談所	-	-
健康センター	8	22.9
子ども家庭支援センター	1	2.9
たいよう福祉センターやおおぞら福祉センター	2	5.7
相談機関（ひびき、あさやけ、ほっとなど）	-	-
児童発達支援センター	-	-
障害者相談員	-	-
発達障害者支援センター（TOSCA）	-	-
民生委員児童委員	-	-
交流会・ペアレントメンター	1	2.9
親の会など	-	-
インターネット・SNS	-	-
その他	1	2.9
無回答	4	11.4

(13) 今後望む支援（発達）

問 今後、どのような支援を望みますか。（3つまでに○）

「就労支援」が38.1%ともっとも高く、次いで「ソーシャルスキル（買い物、宿泊、対人などの社会適応）に関する療育」が35.7%、「学習サポート」が33.3%となっています。

【集計結果：今後望む支援】

項目	発達障がいの方 回答者数 = 42	
	人数	%
専門的な相談支援	11	26.2
気軽に相談できる場所の提供	11	26.2
感覚や言語などに関する療育	11	26.2
日常生活動作（食事、入浴など）に関する療育	2	4.8
ソーシャルスキル（買い物、宿泊、対人などの社会適応）に関する療育	15	35.7
学習サポート	14	33.3
就労支援	16	38.1
親子ともに療育や関わりを身につけるための支援	2	4.8
障がいに対する理解促進・啓発のための研修	2	4.8
保護者同士の情報交換・交流の場の提供	6	14.3
その他	1	2.4
無回答	9	21.4